

### ①改革プラン“富士見市元気計画”5つの約束 【70%を達成】

項目	取り組み状況	評価	評価ポイント
約束1 特定の「企業や労働組合、政党」の支援は受けません！	無所属、無派閥、市民党で働いています。	◎	1
約束2 会計情報を必要としているのは市民です！ 富士見市の「棚卸し」から行財政改革を進めます。	平成21年7月に市民参画で事業仕分けを実施し、約2500万円の成果をあげました。	○	0.5
約束3 行財政改革は市長自らが率先して行います！ 退職金0円、報酬30%カット、交際費大幅削減、高級車廃止 エコカーにします。	実施済みは、「市長報酬30%カット(約87万円→約61万円に)」、「交際費の大幅削減(約261万円→135万円に約50%カット)」、「高級車は廃止しエコカーにします(大型車を廃止し、今年で12年になるハイブリッド車を使用)」です。「市長の退職金を0円」は現在検討中です。	○	0.5
約束4 市民参画のモデル自治体をめざします！ 予算や政策決定過程を公開し、市民参画を進めます。	地域予算説明会や基本構想地域説明会、事業仕分けなど、積極的に市民参加の市政を進めています。今後さらに予算編成過程の公開を目指して行きます。	○	0.5
約束5 子どもにツケをまわさない！	債務残高は、平成19年度末には総額443億9,823万9千円でしたが、21年度末では35億8,591万6千円減の408億1,232万3千円と着実に減額しています。	◎	1
合計			3.5

70%  
↑達成率

※赤字は未達成、青字は実施。評価ポイントは、実施=1、一部実施=0.5としました。

凡例

◎	達成済み 又は相当達成
○	推進中
—	未着手

### ②個別項目【24項目中52%を達成】

実施時期	達成済み または 相当達成	推進中	未着手	評価ポイント
す ぐ	2	4		3.5
1年以内	1			1.0
2年以内		4	2	2.0
3年以内		1	1	0.5
4年以内		6		3.5
6年以内		1		0.5
8年以内		2		1.5
計	3件	18件	3件	12.5

構成比→ 12.5% 75.0% 12.5% 52%  
↑達成率

凡例

◎	達成済み 又は相当達成
○	推進中
—	未着手

個別項目の進捗状況

※赤字は未達成、青字は実施。評価ポイントは、実施＝1、一部実施＝0.5としました。

政策項目・内容	目標時期	これまでの実績と平成22年度の取組み	評価	評価ポイント
1 改革の技術“行財政改革”				
1 市役所の「棚卸し」(現状把握)→役所の仕事に「値札」をつけます。	すぐ			
公会計方式を導入し、市役所の「棚卸し」(現状把握)から始めます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20年度決算から、市の関連団体を含めた財務諸表を作成しました。(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書)</li> <li>・H20年度決算で「主要な施策の成果報告書」を作成し、事業別の成果と人件費も含めた総額が分かるようにしました。</li> <li>・H22年度は、事務事業評価を導入し、さらなる改善を目指しています。</li> </ul>	○	0.5
2 「事業仕分け」は市民参画で	1年以内			
全ての仕事に値札を付けて公表し、市民参画で事業仕分けします。 市がやるべき業務、民間に任せてできる業務を検討し、ゼロベースから予算を組み立て直します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21年度に市民参加で事業仕分けを実施し、約2,545万円を節減しました。(全国初の市民公募による市民判定人の事業仕分けが注目され、これまでに約30団体から視察がありました)</li> </ul>	◎	1
3 民間でやれることは民間に！	棚卸し後すぐ			
PFIや指定管理者制度とともにPPP(公民連携)の手法を導入します。 市有財産の積極活用と民間企業の事業拡大を積極的に支援します。 職員を8年間かけて約620人から140人削減し(=H28年度時点で480人)、余剰財源を借金返済と市民サービスに充てます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21年度に、民間と市の役割分担を踏まえ、より効果的な公共サービスを構築するため「民と官の連携による公共サービス改革検討委員会」を設置し、事業仕分けや補助金の見直しに取り組んでいます。</li> <li>・H23年4月開設に向けて、民設民営の(仮称)鶴馬けやき保育園と(仮称)すくすく保育園の整備を進めています。</li> <li>・H22年4月から、図書館を民間に委託し(指定管理者制度)約4千万円を節減し、さらに年13日間の開館日の増や開館時間を午後7時まで拡大しました。</li> <li>・H23年4月実施に向けて、サービスの向上と経費の節減を目指して児童館の民間委託化(指定管理者)を進めています。</li> <li>・職員数を削減してできるだけ少ない経費で行政運営を行えるように進めています。(H20年4月626人→H22年4月584人＝42人削減(延べ約4億円の節減効果))</li> </ul>	◎	1

政策項目・内容		目標時期	これまでの実績と平成22年度の取組み	評価	評価ポイント
4	<p>情報は全部公開します。</p> <p>進捗状況もすべて公開します。市役所の全ての政策決定過程や予算編成過程を公開します。 文書管理のデータベース化を進めHPによる情報公開を徹底します。 健全な財政に関する条例を制定し、財政レポートを公表します。 外部監査の導入と市民参加での決算評価、事業業績評価を行い、公表します。</p>	3年以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供の充実を目指して、H22年6月からホームページのリニューアルを実施。</li> <li>・H21年4月 予算地域説明会を開催。</li> <li>・予算書等をHPで公開(実施計画、予算編成方針、当初予算、補正予算、決算書等)。</li> <li>・「行政経営プラン」と併せて「見て分かる富士見市の予算」を作成。</li> </ul>	○	0.5
5	<p>公務員の「流動化」を進めます！</p> <p>給与体系と年金制度の抜本的な見直し、早期退職制度の導入。 採用に際しては、市民参加の採用委員会を立ち上げるとともに、中途採用を促進します。 天下りは認めません。 市と取引のある企業、団体への就職は在職時の業務(退職時)に関連する場合、3年間は認めません。</p>	4年以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21年度から、新規採用職員の面接に民間企業の人事担当職員を登用し、民間の視点を加えて、より一層、公正公平で能力と意欲の高い職員採用を推進しています。</li> </ul>	○	0.5
6	<p>「入札改革」は情報公開で！</p> <p>一般競争入札による電子入札を徹底するとともに、議員による口利きはすべて情報公開の対象にします。 「職員倫理条例」「政治倫理条例」「公益通報者保護条例」を3点セットで制定します。 民間人を登用した「入札監視委員会」を設置するとともに、入札状況はHPで常時公表します。入札には総合評価方式を導入して、「障がい者雇用、仕事と子育ての両立支援、環境対策などの社会的取り組み」を評価します。</p>	2年以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・130万円以上の工事について、電子入札による一般競争入札を導入しました。</li> <li>・H21年度から、大学教授、弁護士による入札監視委員会を設置し、常に、公正公平で適正な入札が確保されるようチェック体制を構築しました。</li> <li>・入札の実施状況をホームページで詳細に公表しています。</li> <li>・価格以外に、地域貢献の度合いなどを含めた総合点で業者を決定する簡易型総合評価方式を導入しています。</li> <li>・各種条例制定について検討中です。</li> </ul>	○	0.5
2 改革の技術“市民主義の確立”					
1	<p>「市民投票条例」を改革</p> <p>民主主義の根幹は住民が直接決定に参加すること、常設の市民投票条例をさらに使いやすく実効性のあるものに改正し、その市民投票の結果を執行部や議会の決定より上位に位置づける制度の導入をします。</p>	2年以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討中</li> </ul>	-	0

政策項目・内容		目標時期	これまでの実績と平成22年度の取組み	評価	評価ポイント
2	「総合支所」の創設で、市民主導の地域づくり 既存の支所を地域住民協働によりバージョンアップし「総合支所機能」を持たせます。 今までの出張所の業務拡大(高齢者・障がい者の就労支援等)と効率的なサービスを推進し、業務の縦割り組織の見直しと、窓口の一本化を進め、ワンストップサービスを提供します。土日開庁や窓口業務を20時までの延長を実現します。 総合支所に業務と財源を割り振り、地域の学校運営協議会やまちづくり協議会と連携した、地域主導の自治を進めます。	4年以内(順次実施)	・H22年度 庁内に総合支所検討委員会を設置し検討中です。 ・本庁舎の総合的窓口について検討を進めています(H23年6月実施予定)。	○	0
3	「子ども」は宝です。子育てするなら富士見市で！ 富士見市で出産、子育てすれば、安価で安心の環境を提供します。 妊婦検診(10回)の段階無料化、幼稚園延長保育補助金の新設、中学校までの医療費の無料化を進めます。 総合支所に子育て支援窓口を一本化して設置します。	2年以内	・H21年度から、妊婦健診の無料化を実施しました。 ・H22年10月から、医療費を中学校修了まで無料にします。	○	0.5
4	「高齢者」も宝です。老後も安心な富士見市に！ 後期高齢者医療の増加分は暫定的に3年間、市が負担します。国への廃止を強く要望するとともに、行財政のスリム化で福祉予算を捻出します。 高齢者が自ら考え創意工夫が生かせる職場の提供を推進します。	すぐ	・後期高齢者医療制度の廃止を国に要望しました。(国で見直しが検討されています) ・後期高齢者医療制度保険料増加分の負担については、国で制度変更が検討されているため状況を見守っています。	○	0.5
5	「待機児童」ゼロに。 保育所の待機児童解消のため、新設する保育所は公設民営で進めるとともに、その運営状況を市民の皆様とともに定期的に診断し、今後の保育所運営に生かします。 諏訪小学校敷地内に第5保育所を移設します。 児童クラブ指導員の加配は即実施し、諏訪児童クラブは増築します。	4年以内(順次)	・H23年4月開設に向けて、民設民営の(仮称)鶴馬けやき保育園(定員90人)と(仮称)すくすく保育園(定員60人)の整備を進めています。定員1,095人→1,245人へ ・新しい保育指針に基づき、保育所の自己評価と評価情報の公開について検討しています。 ・H21年度、放課後児童クラブにフリー指導員1名を増員しました。 ・H21年度、放課後児童クラブの入所希望者の増加に伴い、諏訪、ふじみ野に第2放課後児童クラブを増築しました(H22年4月開設)。その結果、待機児童ゼロ、大規模クラブが解消されました。 ・H22年度、関沢、みずほ台についても、第2放課後児童クラブの増築工事を実施します(H23年4月開設)。	○	1

政策項目・内容		目標時期	これまでの実績と平成22年度の取組み	評価	評価ポイント
6	「教育」は民間の目線で。 教育委員を公募します。また、食育教育やビオトープを中心とした環境教育に力を入れていきます。 総合支所に家庭教育相談窓口を新設します。	4年以内(順次)	・H21年度、教育委員1人の公募を行い、応募者10人の方の中から選任しました。	○	0.5
7	「学校」はもっと自由にいきいきと。 小中学校にTTを導入し、学力向上に努め教育環境の充実に努めます。 「食育推進条例」を制定し、職育教育を推進します。 学校運営協議会を新設し、学校との連携で特色と独自性を持った学校運営を進めます。 不登校対策や思春期の心の悩みを抱える子どものための「メンタリング制度」を導入して積極的に対応します。 部活動の強化、支援を図るため予算の拡充を図ります。 中央図書館は機能充実を図り自習スペースの確保と学校図書館とのネットワーク化を進めより使いやすい図書館にしていきます。	2年以内	・全小中学校に県費の指導加配教員を配置(特別支援学校を除く)しているほか、全小学校に基礎学力定着支援員を配置(市費)しています。 ・学校運営協議会は、H23年度からモデル校で研究していく予定です。 ・教育相談研究室の専任相談員等の体制を拡充しました。 ・H22年度、大会派遣費を旅費と宿泊費の全額補助に改善しました。 ・H22年度、図書館の民間委託(指定管理者制度)により、開館日と開館時間の拡充をしました。	○	0.5
3 改革の技術“元気改造計画”					
1	「楽市楽座」都市を進めます。 提出書類の軽減と、一定基準に達する場合は固定資産税や市民税の減免措置を積極的に進めます。	2年以内	・検討中	-	0
2	「食料自給率」100%都市をめざします。 高い就農ハードルを下げ、休耕地や農業機械を安価、あるいは無料で賃貸し、市民農園を広げていきます。 農業法人設立や運営のサポートをします。 食育とともに地産地消を実践します。	4年以内	・H21年度から、地産地消計画の策定に向けて、農業者・事業者・消費者などの参加により検討を進めています(H22年度中に策定予定)。 ・地産地消を実施中(給食センター、保育所)。	○	0.5
3	自然環境と調和した「ビオトープ」都市をめざします。 小中学校に計画的にビオトープをつくり、古き良き富士見市を取り戻します。「寄付条例」を制定し、自然環境の保全に努めます。	すぐ	・寄附条例については、議会提案に向けて検討中。	○	0
4	「地域のコミュニティ」復活都市をめざします。 高齢化社会に向けても、子どもたちが安心して育つ社会のためにももう一度地域コミュニティの再生が必須です。 商店街に補助金というのではなく、接客や振興のためアドバイザーを派遣する制度を新設します。	3年以内	検討中	-	0

政策項目・内容		目標時期	これまでの実績と平成22年度の取組み	評価	評価ポイント
4 改革の技術“安心安全計画”					
1 「安全」な施設が必要です。(4年で6億円)	4年以内				
保育所・小中学校優先で耐震補強工事を4年以内に終了させます。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の耐震補強工事は、校舎はすべて完了しました。体育館もH22年度ですべて工事が完了し、安心安全な教育環境となります。</li> <li>・H22年度、第2保育所の耐震補強工事を実施します。</li> <li>・H22年度、健康増進センターと鶴瀬公民館の耐震診断、老人福祉センターの耐震設計を行っています(H23年度工事を実施)。</li> </ul>	○	1
2 安全は連携や積極的な政策で。「消防」は防災の要です。	6年以内				
災害協定を他団体と結ぶとともに、地域防災対策の知識を持った「防災士」制度を新設します。自主防災組織推進のために減免制度と支援の拡大を図ります。老朽化している消防団車庫を計画的に建替えるとともに、環境整備に努めます。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時相互支援協定を締結しています。</li> <li>・H22年度、第2分団の消防団車庫を新築移転します。</li> <li>・自主防災組織の拡大を支援しています。</li> </ul>	○	0.5
3 「消費生活保護条例」で。	すぐ				
「消費生活保護条例」をつくり、専門窓口を設けるとともに全庁一体となって対応します。			・市民相談室が専門に対応。	○	0.5
4 AED(自動体外式除細動器)設置の充実。	2年				
AED設置の充実を図るとともに、全職員に講習を受けさせ、順次免許を取らせます。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDは、市内46箇所の公共施設に設置しています。</li> <li>・救急救命講習を順次開催し、全職員がAEDに対応できるようにしていきます。</li> </ul>	○	0.5
5 公共施設のユニバーサルデザイン化を進めます。	8年(順次)				
障がいを持った方にもやさしい公共施設にします。学校・市役所を始めとするトイレの洋式化を推進します。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・H22年度、公共施設2か所にオストメイトを拡充していきます。</li> <li>・H22年度、小中学校の体育館等公共施設のトイレの洋式化工事を行います。また、H23年度から小中学校のトイレの洋式化を順次進めていきます。</li> </ul>	○	1
6 「景観」「ひと」「環境」に配慮したまちづくり。	8年以内				
「景観条例」や「屋外広告物条例」の制定で景観重視のまちづくりを進めます。道路は「自然と人間優先」の視点から、自然生態系保全と歩行者保護の道路整備を心がけます。第1、第2運動公園の環境整備を進めます。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21年度 運動公園のトイレの改修を実施しました。第2運動公園の防球ネットを整備しました。彩の国みどりの基金を活用して第2運動公園に植樹(305本)を行いました。</li> <li>・H22年度 市民参加による花と緑のまちづくりに向けて、桜のオーナー制度を開始しました。</li> </ul>	○	0.5
7 商店街の「街路灯」。	すぐ				
防犯の観点から、商店街の街路灯の電気料は100%補助します。			・H21年度から、市内22商店街等の街路灯の電気料を100%補助にしました。	◎	1
合 計					12.5